

竜巻による損傷の防止に係る対応方針

対応方針の基本事項

- ヒアリングにおいては、話題となった事項の具体的な対応方針を明確にするとともに、作業者の理解を深め、共通認識の下に対応していくため、本資料に記載して共有する。なお、当日の振り返りにおいて方針を明確にできなかった事項についても、事後検討の上で方針を記載して提示する。
- 対応方針としては、コメントリストのような言われたことのみに対応する進め方ではなく、作業項目等の体系を整理し、類似の事項や関連する事項を集約して一貫性のある対応（適宜、関連事項への水平展開を図るなど）としてタスクを整理することとする。
- 対応方針の整理においては、作業の目的を明確にし、目的達成のための具体的な作業の方向性や実施事項、留意事項等について、段階的に実施するものはそのプロセスも含めて明確にする。
- 作業漏れを防ぐために個別具体的な事項を記載する場合には、煩雑にならないよう留意する。

No	対応方針	対応予定日※	他のタスクとの関係性	ヒアリング
1. 共通 1 2 事前作業に係る対応方針（説明すべき事項の整理、DBとSAの関係整理、設計と評価の関係整理）				
-	<ul style="list-style-type: none"> ・共通 1 2 の事前作業として、異なる設計説明分類間で重複した説明を行うのを避けるべく、共通して説明できる事項を整理する（具体については1.1①項参照）が、その際、まずはDBにて整理を行い、SAについてはDBとSAの設計要求事項を対比する形で整理（具体については1.1②項参照）することで、DBの整理にSAも加えた形で共通して説明できる事項を整理する（具体については1.1③項参照）。 ・また、設計説明分類の設備に対する説明方針を決定するために代表して説明する設備の選定を行う（具体については1.2①,②項参照）とともに、代表では説明できない説明項目（差分）を把握する（具体については1.2③項参照）。その際、まずはDBで整理を行い、DBとSAの関係を整理した後にSAも含めた選定を行う。 ・設計と評価の関係性については、上記それぞれの整理を行う際に合わせて整理する。 	-	<p>1.1①～③</p> <p>1.2①～③</p>	-
1. 1 設計説明分類間の共通項目を踏まえ代表する設計説明分類の整理				
①	<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通 1 2 の設計説明分類の整理結果をベースに、各設計説明分類の基本設計方針を受けた説明すべき事項を整理すると共に、設計説明分類間に共通する設計要求を基本設計方針に基づき整理し、設計説明分類間のうち代表として説明する設計説明分類を選定する。代表の選定にあたっては、より多くの説明が可能となる設計説明分類を選定する。 <p><共通する設計要求の整理></p> <ul style="list-style-type: none"> ➡8条竜巻の基本設計方針に対して、設計と直接関連しない「外竜巻00別紙2」の要求種別を参考に冒頭宣言、定義、運用要求に係るものを判別したうえで、「外竜巻00別紙2」を参照して基本設計方針に紐づく「主な設備」から、当該の基本設計方針と関係する設計説明分類を特定し、設計説明分類ごとに設計要求内容を記載する。 ➡基本設計方針を要求種別と設計項目（システム設計、構造設計、配置設計、評価）で整理し、設計説明分類ごとに設計項目の設計要求内容を記載する。 ➡異なる設計説明分類間での共通する設計要求内容を特定し、共通であるとする理由について示す。 <p><代表の設計説明分類の整理></p> <ul style="list-style-type: none"> ➡一つの分類で多くの内容を説明できるよう多くの設計要求内容を受け取るものから代表を選定する。 	9月14日	1.1③	<p>8月17日</p> <p>8月24日</p> <p>9月5日</p>
②	<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・竜巻に係るSAの設計のうちDBの説明に含めて説明できる設計要求内容とSAで個別に説明する設計要求内容を明らかにする。 ・まず、DBとSAの竜巻に係る基本設計方針を比較し、設計方針の対応関係を整理し、それにDBとSAの設計要求内容を比較できる形で追記し、分析する。 ➡「安全審査 整理資料 第33条 重大事故等対処設備 補足説明資料2-2 添付-1(令和2年7月13日R29)」のフォーマットを用いて、DBの第1章の基本設計（竜巻）に対応するSA（竜巻）の基本設計を展開し、設計方針の対応関係を整理する。（環境条件のみならず、36条要求のうち位置的分散などの竜巻に関係するもの含む） ➡整理したDB/SAの基本設計方針の比較に紐づける形で、DBとSAの設計要求内容を縦軸に並べる。 ➡設計要求内容を比較・分析することで、要求事項を達成するための対策内容に係るDB/SAの設計の差異を抽出する。SAの設計のうち、DBの説明に含めて説明できる設計要求内容及び個別に説明する設計要求内容を明らかにする。 	9月14日	1.1③	9月5日

No	対応方針	対応予定日※	他のタスクとの関係性	ヒアリング
③	<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1.1④項の結果に対して1.1②項の整理を元にSAの個別に説明する基本設計方針を付け加えて整理し、設計説明分類のうち代表として説明する設計説明分類を選定する。代表の選定にあたっては、より多くの説明が可能となる設計説明分類を選定する。 <p><共通する設計要求の整理></p> <ul style="list-style-type: none"> ➔1.1④項の結果にSAの個別に説明する基本設計方針を追加し、SAの個別に説明する基本設計方針の記載に対して、設計と直接関連しない「重事00別紙2」の要求種別を参考に冒頭宣言、定義、運用要求に係るものを判別したうえで、「重事00別紙2」を参照して基本設計方針に基づく「主な設備」から、当該の基本設計方針と関係する設計説明分類を特定する。 ➔基本設計方針を要求種別と設計項目（システム設計、構造設計、配置設計、評価）で整理し、設計説明分類ごとに設計項目の設計要求内容を記載する。 ➔異なる設計説明分類間での共通する設計要求内容を特定し、共通であるとする理由について示す。 <p><代表の設計説明分類の整理></p> <ul style="list-style-type: none"> ➔一つの分類で多くの内容を説明できるよう多くの設計要求内容を受け取るものから代表を選定する。 	<p>別途設定 (1.1①項、1.1②項の説明を踏まえて期日を設定する。)</p>	1.1①,②	—
1.2 設計説明分類内での代表設備の整理				
①	<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計説明分類内の設備から代表設備を選定するために、共通して説明出来る設備を整理する。 ・まず、設計説明分類と基本設計方針の対応関係を元に整理し、同じ説明項目となる施設（設備）をまとめる。 <p><共通するの整理></p> <ul style="list-style-type: none"> ➔1.1①項の整理した設計説明分類と基本設計方針との関係を元に設計説明分類毎に関係する基本設計方針を縦軸に展開する。 ➔横軸に資料1の設備リストに掲載している機器のうち同じ設計説明分類に属する機器を並べ、全て同じ説明項目となる施設（設備）を統合する。 	9月14日	1.2③	8月17日 8月24日 9月5日
②	<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1.2①項の結果に対して1.1②項のSA設備の整理結果を加えて、共通して説明出来る設備を整理する。 ➔1.2①項で整理した設計説明分類と基本設計方針との関係を元に設計説明分類毎に関係する基本設計方針を縦軸に展開する。 ➔横軸に資料1の設備リストに掲載している機器のうち同じ設計説明分類に属する機器を並べ、全て同じ説明項目となる施設（設備）を統合する。 	<p>別途設定 (1.2①項の説明を踏まえて期日を設定する。)</p>	1.2③	9月5日
③	<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1.2②項の各設備と基本設計方針の対応関係に詳細設計方針を加えて代表設備と差分説明項目の整理を行う。 代表の選定にあたっては、より多くの説明が可能となる設備を選定する。 ➔1.2②項で整理した設計説明分類毎の表の縦軸に「外竜巻00別紙2」の添付書類構成を元に詳細設計方針を展開する。 ➔詳細設計方針から構造設計、評価項目の内容を記載する。 <p><代表機器の整理、差分説明項目の整理></p> <ul style="list-style-type: none"> ➔一つの設備で多くの内容を説明できるよう共通項目が多い設備から代表を選定する。 ➔代表に含まれない項目については、差分説明となる。 	<p>別途設定 (1.2①項の説明を踏まえて期日を設定する。)</p>	1.2①,②	—